



▲シートマルチ栽培で「自然熟蜜柑」の栽培に取り組む田坂さん

高糖度のPB商品 「自然熟蜜柑」



三原地域本部は、プライベートブランド(PB)商品「自然熟蜜柑」の生産に力を入れていきます。シートマルチ栽培で水分調整した、高糖度で色が濃い高品質なミカン。糖度による差別化と高品質果実の安定生産でブランドを強化し、生産者の所得向上につなげます。

品種は早生温州と、いしじが対象で同地域本部では32戸が約5.8haで栽培しています。「自然熟蜜柑」の栽培に取り組む尾道市瀬戸田町の田坂知也さん(28)は「これからも高品質果実の安定生産に努めたい」と話しました。

耕作放棄地で カボチャ生産に力

三原市久井町の農事組合法人「清流の郷 泉」は耕作放棄地の解消に向けカボチャの生産に力を入れています。今年は2haで25tを収穫。カボチャの産地化で地域活性化や雇用創出を目指します。

収穫後は室温12℃の倉庫で追熟させて甘味を十分に引き出し、県内のJA産直市やスーパー、同市内の学校給食調理場に出荷。「ホッポリ美人」の名称で販売します。

同法人の正直己代表は「地域の耕作放棄地ゼロを目指すための取り組みの一つとしてカボチャを栽培している。自慢のカボチャを多くの人に味わってもらいたい」とPRしました。



▲カボチャ「ホッポリ美人」を丁寧に選果する作業員

農業用廃資材回収 環境負荷軽減へ

三原地域本部は11月中旬、三原・竹原市内10カ所で農業用廃資材の回収を行いました。今年は去年並みの約23.5tを回収。廃棄物の適正処理を目的に毎年行ない、SDGsの取り組みのひとつである農業生産における環境負荷軽減に取り組めます。

農業で生じた廃プラスチックや廃農薬などの農業用廃資材は、産業廃棄物に分類され農業者は自らの責任で適正に処理することが義務づけられています。

同地域本部の吉田保宏営農経済部長は「農家の負担を少しでも軽減し、JAとして農業用廃資材の適正な処理と資源循環の取り組みを進める」と話しました。



▲回収された農業用廃資材

親子で料理教室 生米パン作り



▲生米パンの焼き上がりを確認する親子と女性部

三原地域本部は12月2日、同JA女性部三原地区本部と協力し、「親子で料理教室」を開きました。「親子で農業体験」に参加した管内小学生親子12組35人が、栽培した米を使って生米パンを作りました。

女性部が作り方を説明し、親子で協力して生米をミキサーにかけ、材料を混ぜ合わせて型に流し込み、作業を進めました。子どもらはオーブンを覗きながら焼き上がりを楽しみに待ち、米の炊けるような香りとともに完成したパンを前に歓声を上げました。焼き立てのパンは親子で美味しく食べ、楽しい時間を過ごしました。



水稲

水田畦畔の雑草管理

水田畦畔などの雑草管理は、生産者にとって大きな負担になっているかと思えます。特に高低差が大きい所では雑草管理にかかる労力は大きくなります。

雑草地は、放置しておくとも病害虫の温床になるので、適切に管理する必要があります。

雑草管理の方法は、様々ありますが、この時期から使用できる除草剤・抑草剤をご紹介します。

秋冬〜春（雑草発生前〜発生始期）

抑草
カソロン粒剤6.7

水田畦畔：6kg/10a
非農耕地など：
10～15kg/10a
均一に散布してください

除草
バスタ液剤

水田畦畔：1,000ml/10a（100倍）
雑草生育期（収穫7日前まで）

除草
ザクサ液剤

水田畦畔：1,000ml/10a（100倍）
雑草生育期（収穫7日前まで）

一年生雑草のほか防除困難なヨモギ、ギシギシ、ヤブガラシ、スギナなどの多年生雑草にも高い効果を示します。吸収移行性の土壌処理剤で、雑草の発生を長期間抑えます。水のいらぬ粒剤なので、簡単に散布できます。

初夏

幅広い種類の雑草に高い効果を示す非選択性除草剤です。

薬剤がかかった部分のみを枯らし、雑草の根を完全に枯らさないの

で、畦崩れにくい状態を保ちます。

抑草
ダイロンゾル

水田畦畔：
250ml/10a（400倍）
雑草発生前〜生育初期
（収穫30日前まで）

落葉果樹

整枝・せん定

先月に引き続き、整枝・せん定を行ないます。左記の内容を参考に進めてください。

- ①品目ごとの結果習性について
- ・結果枝タイプ：昨年伸びた枝に花芽をつけ開花結実する。
- ・モモ、ナシ、ウメ、リンゴなど。
- ・結果母枝タイプ：今年発生する枝に開花結実する。
- ・ブドウ、カキ、イチジク（品種：蓬萊柿）、キウイフルーツなど。
- ②樹を構成する枝の名称について
- ・主幹：地際の土台となっている幹部分。
- ・主枝：主幹から発生する幹について太い骨組みとなる枝で、2〜3本とする。
- ・垂主枝：主幹から分岐した枝。主枝と並んで骨組みになる枝で、一つの主枝に2〜3本とする。
- ・側枝：主枝や垂主枝から発生し結果母枝や結果枝をつける。側枝は3年くらいを目途に更新する。
- ③樹形・樹姿について
- ・基本的な樹形：主枝が3本の開心自然形または2本の双幹形
- ・ブドウ：長梢せん定仕立て（X型自然形整枝）、短梢せん定仕立て（平行型整枝）
- ④枝の切り方について

- ・切り返し：昨年伸びた枝を途中で切る方法。先端部を強く伸ばして骨格となる枝（主枝や垂主枝）を育てる（樹冠拡大を図る）場合、結果枝や側枝の先端を弱らせない場合、先端が垂れた枝の勢力を回復したい場合などに行なう。
- ・間引き： unnecessary 枝を除くときの切り方。せん除したい枝の発生位置（分岐部分）まで戻って切り、新たに枝が出ないようにする。込み合った枝や重なった枝を除く場合や、残したい枝と太さが競合する枝を除く場合などに行なう。
- ⑤せん定の順序について
- ・基本的には主幹↓垂主枝↓側枝の順に処理する。主枝背面や垂主枝の分岐点近くに発生した強勢な枝は除去する。主枝、垂主枝の先端は一本にして切り返す。側枝は垂主枝よりも強くしないように整理する。せん定後、切り口の処置にはトップジンMペースト（写真）などの癒合剤を塗布し、枯れこみなどを防ぐ。



- ⑥せん定鋏、鋸について
- ・自分の手にあったせん定鋏や鋸を使用する。

柑橘

これから発生する雑草を長期間抑えて、一部枯死させます。

畦畔、農道、水路などの法面の草刈り作業の回数や労力を軽減できます。

ザクサ液剤またはバスタ液剤と、ダイロンゾルは混用散布すること

で、除草効果と抑草効果の両方を発揮できます。

詳しくはお近くのアグリセンターにお問い合せください。

水稲に関する情報をお届けします！

LINE

メール配信サービス

あけましておめでとうございませす。読者のみなさまと栽培している農作物の健康をお祈り申し上げます。

収穫出荷作業が続いていますが、新しいシーズンへの準備を開始する時期でもあります。その一つが温州みかんで広範囲で発生したナシマルカイガラムシの対策です。年々増加傾向にあります。外観品位を低



ナシマルカイガラムシ

下させるだけでなく寄生した枝は衰弱していき弱々しい樹になってしまします。対策は機械油乳剤95を30倍で1月中旬ごろまでに散布してください。散布時には樹勢回復のため尿素200倍を混用しましょう。

もう一つが土づくりで堆肥と石灰質資材の投入です。堆肥は土壌の腐植を増加させ保肥性・保水性・通気性を良好にします。広島県の多くを占める花崗岩土壌は、保肥・保水性については良い土壌ではありませんが、10a当たり2t以上の堆肥を投入して肥えた土壌を作りましょう。

石灰質資材は「苦土石灰」や「マリンカル」を投入することで土壌の酸性化を防止します。土壌のpHを適正にして根が養分を吸収しやすい環境をつくります。

農作物の重要な土台でもある土を良好・適正にしていくなこの時期の重要な作業です。是非実施しましょう。

家庭菜園

家庭菜園では、作物を栽培する面積が小さく、日陰になりがちな場所や、昨年と同じ作物を植付けざるを得ない場合もよくあります。

しかしながら、作物には、光を好む作物もあれば、日陰を好む作物もあり、また、毎年同じ場所では健全な生育がしにくくなる作物もあります。それらを踏まえた上で、年の初めに1年間の作付け計画をじっくりたてましょう。

野菜の日照特性

野菜づくりの環境として、圃場の日照時間も重要な要素です。

野菜には、直射日光を好み、日陰では育たない「陽性植物」と、日陰を好み、直射日光が長時間あたると葉やけをおこしやすい「陰性植物」、その中間にあたる「半陰性植物」があります。それぞれの特性に応じた日照条件で栽培することが大切です。

野菜の連作障害

野菜の種類によつては、毎年同じ圃場で同じ作物を続けて栽培していると、健全な生育をしなくなる「連作障害」が発生しやすくなります。この連作障害を回避するために、次の点に注意しましょう。

- ①作物の特性を把握し輪作に努める。

主な作物の日照特性		連作しやすい作物としにくい作物の一例	
	品目		品目
陽性植物 (1日6時間以上の日照が必要)	トマト・ナス・オクラ サツマイモ・スイカ・キュウリ カボチャ・大根・キャベツ 白菜・ニンジン など	連作障害が出にくい作物	ネギ・カボチャ・ホウレンソウ・タマネギ ニンニク・サツマイモ など
半陰性植物 (1日3～4時間の日照があれば、正常に生育)	イチゴ・ホウレンソウ サトイモ・レタス・アスパラガス 小松菜・しょうが・ネギ など	1年以上作付けを休む	レタス・大根・ニンジン・カブ ブロッコリー など
陰性植物 (直射日光の当たらない半日陰から日陰を好む)	ミツバ・クレソン・シソ みょうが・ミズナ・ふき・ニラ など	2年以上作付けを休む	白菜・キャベツ・イチゴ・ニラ など
		3年以上作付けを休む	馬鈴薯・キュウリ・サトイモ・大豆 ごぼう など
		5年以上作付けを休む	トマト・ナス・ピーマン・スイカ エンドウ など

※同じ品目だけではなく、同じ科の作物でも連作障害が発生しやすくなります。(例 ナス科…ナス・トマト など)



～秋の感謝祭～

三原地域本部で11月18・19日、「秋の感謝祭」を開きました。
かんきつの詰め放題や米のすくいどり、もちつき体験などで
組合員や地域住民との交流を深めました。会場では、新米や農
業資材、肥料などの特売、住宅ローンや年金などの暮らしに役
立つ相談会も開き、商品を手に取り説明を聞く利用者やイベン
トを楽しむ親子など多くの来場者で賑わいました。
ご来場いただいたみなさまありがとうございました♪



▲もちつき体験

女性部が
ぜんざいにして
振る舞いました！



▲ミカン・レモンの詰め放題

やさふれあい市場だより

＼こだわり／

基本的な作業を徹底し安心して消費してい
ただける商品を作ることです。

＼利用者へ一言／

消費者の「おいしかった」などの声を直接
聞く事がやりがいです。

安全で安心な柑橘を作れるように日々の栽
培管理に気を遣っております。佐木島で栽培
された柑橘をぜひ食べてみてください！



三原市
ひらきくにひろ
平木 邦弘さん

約2haでミカン
やレモンなどの
柑橘を栽培して
います。

2月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

【営業時間】

11月～3月 8:30～17:00

4月～10月 8:30～17:30

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
		三原	三原						三原	三原	三原				年金相談会 本郷中央支店	三原	三原					三原	三原	三原				
		三原西	三原西						三原西	三原西	三原西					三原西	三原西					三原西	三原西	三原西				
		本郷	本郷						本郷	本郷	本郷					本郷	本郷					本郷	本郷	本郷				
		久井	久井						久井	久井	久井					久井	久井					久井	久井	久井				
		せとだ	鷺浦						せとだ	鷺浦	鷺浦					せとだ	鷺浦					せとだ	鷺浦	鷺浦				
		竹原	せとだ						竹原	せとだ	せとだ					竹原	せとだ					竹原	せとだ	せとだ				
			竹原							竹原	竹原						竹原						竹原	竹原				